

選挙公報

湘南新都心・さむかわ

若い人たちが住みたくなる、まちづくり

子供

子供＝安全・安心な生活づくり
・子育て支援（妊娠・出産・育児・保育の支援）
・教育支援（学力向上）

協働

協働＝男女参画の町づくり
・働きやすい環境づくり
・災害対策（自助・共助・公助の仕組みづくり）

高齢者

高齢者＝微笑ある生活づくり
・こころの通う福祉対策（安心で豊かな生活ができる仕組みづくり）
・バリアフリーの環境整備



無所属
二ノ宮まさかず
六十歳

多様性とはみんなの意見。多様性が寒川を変える！

1. 食と農による豊かな町づくり。
2. 想定外をなくし、災害に強い町に。
3. 女性・シニア・弱者の声を大切に。
4. 子供達の基礎学力と創造性の涵養を。
5. 実利を見据えた国際交流を。
6. 財政を見直し、納得できる支出を。

志柿としろうのプロフィール

・昭和32年 熊本市生まれ
・奈良高校・富山大学・ワイオミング大学(修士)・
ハワイ大学(博士)卒業
・(一社)太平洋農業アライアンス 代表理事
・東京大学特任研究員
・(株)ニッポンジーン・BlueNalu Inc. 技術顧問
・愛知県公立学校教員・青年海外協力隊員・
バイラー医科大学研究員・パプアニューギニア
国立農業研究所主任研究員等を歴任



優夏(娘) ロバ(妻)

明日の寒川を創るフォーラム代表 志柿としろう は
皆さんと一緒にがんばります！



無所属
しがき
志柿
としろう

寒川町議会議員補欠選挙 みなさん投票しましよ

地元の問題を解決する。次世代にツケを残さない。

生まれてから寒川町で育ち、寒川町のために何が出来るのか、次世代の子供達のために何が出来るのか？そう思い挑戦したことが、平成29年度町議会議員選挙でした。町の最大の問題は財政難であり、箱物行政を続けた結果、維持費更新費で首が回らなくなり、すべてのツケは次世代の子供達が背負わなくていけなくなってしまう現状を訴えました。

あれから2年半の歳月が経ちましたが、何か問題が解決したのでしょうか？みんなで話し合う事が目的になってしまい、誰も決定する覚悟を持たず、いたずらに議論だけを繰り返して、苦しい意思決定は先送りにし、未来に起こりうる町の最大の問題を現世代で解決せず次の世代に棚上げしようとしていることが現状なのではないでしょうか？都合の悪いことは人口減少を理由にし、補助金やコンサル頼みの他市町村に似たり寄ったりの町おこしをいたずらに繰り返しているだけではないのでしょうか？

本当に人口減少が町をダメにする最大の問題なのか疑問に思い調べていくと、今と同じ技術水準と人的資本で想定する人口（8800万人）まで減少した場合、GDP成長率に対し最大0.7%の影響が出るかどうかです。人口が減り始めたここ10年では0.2%分程度です。マクロ経済指標にはほとんど影響がないことが事実ベースの数値で出ているのに、なぜ人口減少を理由にして移住者を増やす目的の町おこしを続けるのでしょうか？もちろん費用は私達の血税からです。

本当に地方創生に必要なことは公共事業ではなく民間事業が挑戦しやすい土台を作り町で稼ぐ仕組みを作ることです。寒川町は先代の先輩達が日本経済の成長に合わせ第2次産業で町を発展させてきました。第4次産業が成長する現代で町はどのように生産性を上げているのでしょうか？公共事業の町おこしで解決する次元の問題ではないと強く思います。

「地元の問題を解決する」選挙に出るのにこれ以上何があるのでしょうか？毎日働き町に税金を納める納税者の皆様、次世代の子供達を育てる皆様、次世代にツケを残したくない皆様、本当にこのままの寒川で良いのでしょうか。次世代にツケを残さないために、私達と一緒に問題を解決していきませんか？

経歴：相和幼稚園、南小学校、寒川中学校、茅ヶ崎北陵高校卒業、米カリフォルニア州CitrusCollegeFLS課修了、仏International University of Monaco留学、帰国後バナソニックグループ会社を経て、現在は港区六本木の大手外資系企業に勤務。田端在住。https://lineblog.me/yuyanagida



柳田遊
やなぎだゆう
36歳
無所属

チェンジ&チャレンジ!!さむかわ ～共に生きる社会の実現へ～

福祉施策の充実

高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。75歳以上の人口が大幅に増える2025年以降を見据え、「地域包括ケアシステム」を確実に機能させます。また、障がい者の状況が正しく理解されるための啓発活動と就労支援を充実させます。

教育改革といじめの撲滅

未来を創る子どもたちに質の高い教育を行うための改革を進めます。例えば、一人ひとりの個性が尊重され、自由度の高い教育環境・カリキュラムの選択が可能な制度の導入など。また、いじめや不登校を本気でなくすために実効性のある施策に取り組みます。

税金の使い方の見直し

町民皆様の生活に本当に必要なものから税金を使っていく、この大原則を徹底していきます。また、民間平均を大きく上回る公務員給与の妥当性を厳しく問うていきます。寒川町では歳出の2割強を占めます。

人工芝の多目的グラウンドを

近隣市町村どこにもある人工芝グラウンドが寒川町にはありません。「健康都市宣言寒川」のスローガンに相応しく、子どもからシニアまで、夢と生きがいを持ってスポーツと健康増進に励める施策を充実させます。

「しがらみゼロ」の改革者

ケアマネージャー・介護福祉士 元進学塾室長 幸福実現党 公認
1968年7月22日生まれ/51歳/O型/妻・長男・妻の両親と同居 ■和光大学経済学部卒業 ■町内福祉施設勤務 ■寒川町青少年環境浄化推進協議会専任委員 ■寒川町青少年指導員 ■「麦笛の会」で視覚障がい者への録音物作成 ■「一般社団法人 ユー・アー・エンゼル」(障がい者支援活動) 相談員 ■「一般財団法人 いじめから子供を守ろうネットワーク」相談員 ■不登校支援スクール「ネバー・マインド」相談員



は
修
し
も
と
こ
ら
さ
む
か
わ

《投票日》

9月1日（日曜日）

《投票時間》

午前7時から午後8時まで